

森の宝箱

プログラムの概要・ねらい

自然の中には、「おもしろい形」をしたものや、「きれいな色」をしたものがたくさん落ちている。これらを拾い集めて、箱に詰めるだけで、立派な森の宝箱ができて上がる。個人の感性を引き出すこともできるし、グループワークの一つとしても有効である。

場所	施設内各所、ハイキングコース等		
時間	1時間～1時間30分		
値段	無料		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	【利用者】宝箱（何でもよい）、筆記用具、帽子、水筒、救急用品、活動に適した服装 【自然の家】 ※宝箱（透明の小物ケース）は、自然の家でも販売可		

①準備

日差しの強い時期は、帽子・水筒を必ず持って行く。
活動場所は、部屋やサービスセンターから遠いので、簡単なけがなどに対応できるよう、救急用品を持参しておく。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 収集方法・注意事項を説明する。
 - ・実施範囲・終了時間を確認する。
 - ・必要以上に採集しないよう注意する。
 - ・畑や人の土地には入らないように注意する。
- 0:10 採集開始
- 1:00 発表会、観覧会
 - ・自分の宝箱にタイトルを付けて発表し、観覧し合う。
- 1:10 振り返り、分かち合い
 - ・どんなものがあつたか、採集中は何を感じたか、他の人の宝箱を見てどのように感じたかを聞く。
 - ・特に見せたい発見などはみんなで確認する。
- 1:30 終了



- ※グループで実施する場合は、「グループで一緒に行動をする」「グループ全員で確認をした上で宝箱に入れる」などに気を付けることで、グループワークを目的としたプログラムにもなる。
- ※ハイキングと組み合わせて実施することもできる。（ハイキングコース内には採集できない場所もあるので、スタッフに必ず確認する。）
- ※宝箱につめたものを使って、自然のオブジェを作ることできる。
- ※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場内には入れません。また、プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。
- ※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ・イノシシに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）

③後片付け

中身が乾燥するまで、宝箱のふたは開けて保存する。